

# 経営理念と創造憲章

「創造 貢献」というカシオのDNAを基盤とした「カシオ創造憲章」を制定し、CSR経営の推進に取り組んでいきます。

この写真は創業者である故  
樫尾忠雄の直筆の色紙です。

ここに記されている「創造 貢  
献」は、カシオの経営理念です。

カシオの創業は機械式計算機が主流の時代に、独自の小型純電気式計算機を発明したことからはじめます。以来、カシオは「世の中に無いモノを創造することによって社会に貢献すること」を理念として掲げてきました。

従って、私達は仕事をやるうえで、この「創造 貢献」という行為を何よりも大切にしてきました。

このことから「創造 貢献」はカシオのDNAとして、従業員に深く浸透してきました。

しかし、製品の開発サイクルが短期化し、仕様が高度化するに伴い、高度に分業が進み、従業員一人ひとりの職務内容が専門化するとともに、会社が大きくなるに連れ、世界中に事業所が拡大し、経営トップと第一線で働く従業員との距離は、ますます遠くなっています。



経営理念

一方、企業に対しては、公正で透明性の高いコーポレート・ガバナンスやすべてのステークホルダーを意識したCSR経営が強く求められています。

こうした中、カシオはこの「創造 貢献」の意味を従業員全員が改めて考え、常に意識し続けることが、創造的な企業風土を保ち、社会貢献を継続していくことにつながると考えます。

このため、創立記念日に当たる2003年6月1日に、経営理念の今日的意味を全従業員の共通理念として明文化した「カシオ創造憲章」を制定するとともに、同年12月には、あるべき行動をより具体的に示した「カシオ行動指針」を制定しました。

そして、これを記載したカードを全従業員が常時携帯するとともに、経営トップ自らがカシオのあるべき姿について触れたメッセージを、社内のイントラネットで発信し、浸透定着に努めています。



カシオ創造憲章(カード)

## カシオ創造憲章・行動指針ー カシオで仕事を進める全ての人の誓い

**第1章 私たちは、独創性を大切にし、普遍性のある必要を創造※します。**

- 【行動指針】**
1. 全てに対し、“普遍性のある必要”を追究する
  2. 全てに対し、“あるべき姿”を描く
  3. 全てに対し、“挑戦する意志”を貫く

**第2章 私たちは、社会に役立ち、人々に喜びと感動を提供します。**

- 【行動指針】**
1. 人々に、“無限の感動”を提供する
  2. 人々と、“豊かな生活”をわかちあう
  3. 人々と、“尊敬と信頼”の絆(きずな)を育む

**第3章 私たちは、プロフェッショナルとして、常に誠実で責任ある言動を貫きます。**

- 【行動指針】**
1. 全ての言動に対し、“規則・法律に基づき”責任ある態度を貫く
  2. 各々の役割に対し、“結果・成果”の責任を執る
  3. 全ての仕事に対し、“毎日改善”に努める

※普遍性のある必要を創造：誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。  
これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。